

## 成田空港 第1ターミナルからの運航を開始！ ～首都圏の重要拠点 成田の利便性がさらに向上～

- ・ 成田空港の使用ターミナルを第1ターミナルに移転
- ・ 国内線は南ウイング国内線エリアで、国際線は北ウイング B カウンターで搭乗手続き
- ・ 同日より、成田、羽田、関西から国際線 台北(桃園) 行きの運航を順次再開
- ・ 新千歳／仙台－那覇線を同日開設

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:森 健明)は、本日10月25日、成田空港の使用ターミナルを第3ターミナルから第1ターミナルに移転しました。



成田空港 第1ターミナル 北ウイングで取材を受ける Peach 代表取締役 CEO 森 健明(写真中央)

成田空港で Peach をご利用いただく際は、国内線は南ウイング 1 階 国内線チェックインカウンターで、国際線は北ウイング 4 階 B カウンターでの搭乗手続きに変わりました。

アフターコロナにおけるさらなる首都圏ネットワークの拡充を見据えて、鉄道駅直結のターミナルを使用することで、首都圏から鉄道を利用されるお客様はもちろんのこと、成田空港近隣にお住まいの方のアクセスも良くなり、利便性がさらに向上します。

また、本日より、一部国際線の運航を再開しました。成田空港、羽田空港、関西空港から台北(桃園)線を週 3 便で運航します。ビジネス、留学などで「移動を必要とする方」へ、公共交通機関としての役割を果たし、感染対策と経済活性化の両輪を動かしてまいります。

さらに Peach は本日より、札幌(新千歳)／仙台－沖縄(那覇)線に就航しました。両路線共に 1 日 1 往復で運航します。各空港を発着する国内線は、沖縄(那覇)が 5 路線、札幌(新千歳)が 5 路線、仙台が 3 路線となりネットワークがさらに広がりました。

12月24日からは、新たに中部国際空港に就航し、名古屋(中部)－札幌(新千歳)線を 1 日 2 往復で、名古屋(中部)－仙台を 1 日 1 往復で結びます。

今後も Peach は、「空から、新しいかけ橋を。」をテーマに、感染対策を徹底しつつ地域と地域を結ぶかけ橋として、低運賃による気軽な旅を提供しつづけて、航空ネットワークの拡大を進めてまいります。

<初便情報>

札幌(新千歳)ー沖繩(那覇)線

便名	札幌(新千歳)発	沖繩(那覇)着
MM271	11:15	14:50
ご搭乗のお客様:166名(幼児0名)、乗員6名		

仙台ー沖繩(那覇)線

便名	仙台発	沖繩(那覇)着
MM421	11:04	14:13
ご搭乗のお客様:166名(幼児4名)、乗員6名		

<運航スケジュール>

札幌(新千歳)ー沖繩(那覇)線

便名	札幌(新千歳)発	沖繩(那覇)着
MM271	11:10	15:10

便名	沖繩(那覇)発	札幌(新千歳)着
MM272	14:20	17:25

期間:2020年10月25日~2020年12月23日

(2020年12月24日以降のスケジュールについては後日発表します)

仙台ー沖繩(那覇)線

便名	仙台発	沖繩(那覇)着
MM421	11:00	14:20

便名	沖繩(那覇)発	仙台着
MM422	16:00	18:30

期間:2020年10月25日~2020年12月23日

(2020年12月24日以降のスケジュールについては後日発表します)

<運賃>

札幌(新千歳)ー沖繩(那覇)線: 7,990円~51,990円(シンプルピーチ/片道)

仙台ー沖繩(那覇)線: 6,490円~44,990円(シンプルピーチ/片道)

Peachについて(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳、仙台、成田、福岡、那覇空港を拠点空港とし、32機の機材で、国内線26路線、国際線17路線に就航しています。12月24日より中部国際空港から札幌(新千歳)/仙台ー名古屋(中部)線の運航を開始し、新たに中部国際空港を拠点空港とします。10月25日からは大阪(関西)/東京(成田)/東京(羽田)ー台北(桃園)の国際線の運航を再開し「アジアのリーディングLCC」を目指すとともに、首都圏および関西を中心に各地からの路線網を拡大しています。なお、成田空港では10月25日より乗り入れターミナルを第3ターミナルから第1ターミナルに移転し、国内線は第1ターミナル(南)1階、国際線は4階(北Bカウンター)にて出発手続きを行います。関西空港では国内線は全便第2ターミナル、国際線では出発が第2ターミナル、到着が第1ターミナルとなります。